

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称	子育て世帯生活支援特別給付金事業費〔子育て世帯生活支援特別給付金支給事業〕										
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童扶養手当	目	1	児童福祉総務費	事業番号	13
事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)										
	<input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの										
担当部署・課長名	子育て支援 課 手当・助成 係					課長名	新海 隆弘				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書 (ページ)	59		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	【ひとり親世帯分】 (1) 令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けている方 (2) 公的年金等を受給していることにより児童扶養手当の支給を受けていない方 (3) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準となっている方 【ひとり親世帯以外分】 対象児童を養育している父母等で、以下のいずれかの所得要件を満たす方 (1) 令和3年度住民税(均等割)非課税の方 (2) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、住民税(均等割)非課税相当の収入となった方					不明					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行うことにより経済的な負担軽減が図られる。					支給決定世帯数					
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
①要綱制定 ②補助金事務 ③支給対象者の抽出 ④支給対象者への通知 ⑤申請書の送付 ⑥申請受付 ⑦審査 ⑧支払事務					支給決定世帯数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	世帯			不明					
	成果指標	②の数値	世帯			1,199					
	目標	②の目標値	世帯	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 法令に基づく対象者に対する支給							
活動指標	③の数値	世帯			1,199						
3 経費	事業費(実績)		円			98,477,697		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円			697					
		特定財源	円			98,477,000					
	(うち受益者負担)		円			0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人			2.0				
		所要人数(再任用)		人			0				
		職員人件費(再任用以外)		円			16,500,000				
職員人件費(再任用)		円			0						
事業費+人件費		円			114,977,697						
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く										
	令和3年度限りの単年度事業である。										
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く										